



**解釈に関心が集まるポイントと
関連製品・サービス紹介、参考情報**



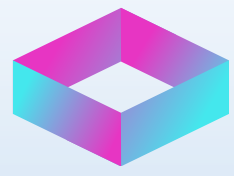
解釈に関心が集まるポイント

1 関心がある電池に関するEU電池規則における電池区分の解釈

- 電池規則公布前後より、最も相談が多い個別の解釈・見解文書の作成相談です。
- セミナー/ウェビナーの質疑応答で尋ねられるケースもありますが、殆どの場合、情報が不足しているために、回答を見送っています。
- この論点については、それぞれの電池に関する情報、定義を踏まえた必要情報、規則および関連文書の情報等を踏まえた上で、筋道立てて見解文書を作成する必要があるため、個別の調査相談による対応としております。多くの場合、関連要件整理を伴います。

2 関心がある電池流通に係る事業者のEU電池規則における種別の解釈

- 次に相談が多い論点は、事業者種別の特定についてです。
- この相談は多くの場合、電池区分についての解釈・見解文書の作成と同時になされます。
- この論点も上記と同様、解釈を進める前に確認すべき情報が多々あるため、個別の調査相談による対応としております。
- 組み込みがある場合や二次利用のシナリオを含む場合など、前提の置き方次第で検討・報告すべき見解文書の分量は大きく変わってきます。



解釈依頼について

解釈に苦勞している点や疑問点について、電池規則の法令情報や関連資料を参考にしながら、第三者としての解釈を示す見解文書を作成・報告します。

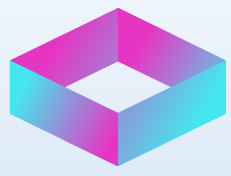
こんな方へオススメ

- 自社の製品・事業に係わる電池規則の要件を整理したい
- 自社の製品・事業に係わる電池の区分や関連する事業者の種別が電池規則のどれに該当するのかの解釈を取得したい

Solution

- 情報整理および解釈について報告書に整理・提供
 - 条項順整理、時系列整理 など（事前に製品・事業情報のヒアリング有り）
- 流れ：
 - 1. ご相談・お問い合わせ
 - 2. 当社からの確認・ヒアリング（前提条件・情報や目的などの確認）
 - この段階が大きな工数になる見込みの場合は調査に組み込み、見積費用に算入
 - 3. 見積作成





解釈依頼について（事例紹介）

事例紹介 1

- クライアント種別：電池メーカー
- 依頼種別：関連電池区分や事業者種別の解釈＋**関連要件の情報整理**
- 補足：電池組み込みや再使用を含む複数シナリオにおける解釈
- 補足：事前質問への回答・見解作成込み
- 調査価格帯：60～80万円（税別）
- アウトプット分量：報告書（98ページ）

事例紹介 2

- クライアント種別：電池組み込み機器メーカー
- 依頼種別：関連電池区分や事業者種別の解釈＋**関連要件の情報整理**
- 補足：多数の調達電池および機器種別に関連する解釈
- 補足：調達電池のメーカー公開情報の確認を含む
- 調査価格帯：50～70万円（税別）
- アウトプット分量：報告書（101ページ）



関連要件の情報整理

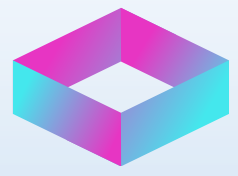
- 全電池に適用される内容と電池区分別に適用される内容について、以下の方法で整理

【全電池区分に係る事業者要件】

- 条項順
 - 電池使用前関連
 - 電池使用后関連
 - その他
- 一覧表整理
- 時系列整理

【〇〇電池に係る事業者要件】

- 条項順
 - . . .



解釈依頼について（事例紹介）

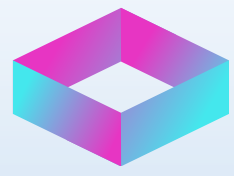
事例紹介 3

- クライアント種別：電池メーカー
- 依頼種別：関連電池区分の解釈+ **関連要件の情報整理**
- 補足：自社電池2種に関する見解文書の作成
- 補足：事前質問への回答・見解作成込み
- 調査価格帯：30～50万円（税別）※早期報告オプション適用
- アウトプット分量：報告書（55ページ）

事例紹介 4

- クライアント種別：電池メーカー
- 依頼種別：自社電池パッケージの適合有無の解釈
- 補足：電池指令および直近の電池規則の表示要件への適合有無の見解作成
- 補足：電池区分や事業者種別の特定解釈なし
- 調査価格帯：15～25万円（税別）
- アウトプット分量：報告書（35ページ）





契約時間消費型コンサルのご紹介

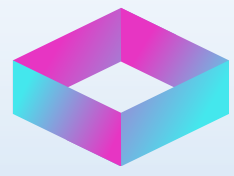
最初に年間や半年での契約で「契約時間」を確保し、都度の質問対応や調査相談の報告で契約時間を消費していくサービスです。

こんな方へオススメ

- 社内外から特定の法令や法令案、政策に関する調査・確認依頼が突発的に生じるため、適宜相談できる体制を整えたい方
- 見積書、受発注書、請求書等の事務処理や社内稟議の手間を最小化し、無駄を省きたい方

Solution

- 最初に「契約時間」を確保し、適宜消費していく形での相談対応
- 担当者レベルのメールベースにて、相談ごとに見積時間を提示→承認→調査・報告という流れで、「相談した分だけ」消費
- 書類事務手続きは契約時の1回のみ
- 不足時には追加可。最大20時間まで繰り越し可
- 世界各国の広範な規制分野の現地語調査・日本語報告に対応
- 概要報告、関連情報調査、詳細調査、比較調査、スライド形式資料整理、翻訳、個別ウェビナーなど、様々な依頼に活用可



契約時間消費型コンサルのご紹介（事例紹介）

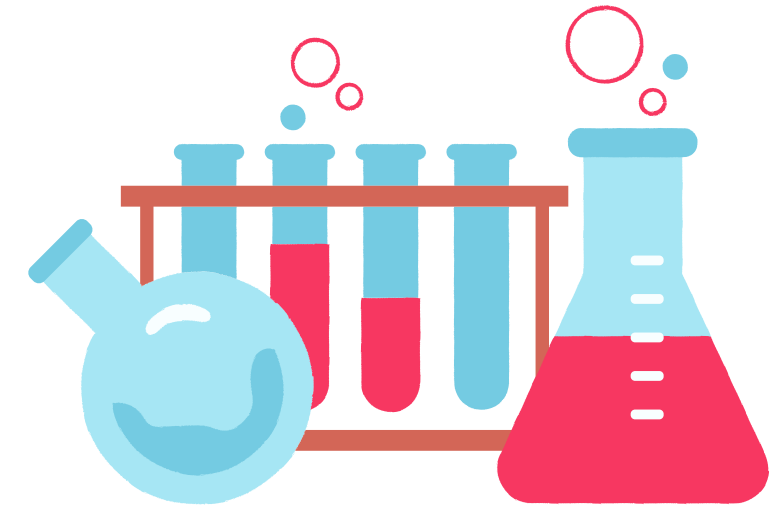
事例紹介 1

- クライアント種別：自動車メーカー
- 対象国・地域：指定なし ・対象規制：資源循環分野全般
- 契約時間：93時間／半年
- 費用：1万円（税別）／1契約時間



事例紹介 2

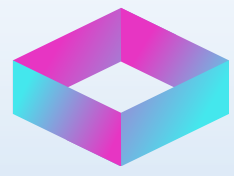
- クライアント種別：食品包装・容器メーカー
- 対象国・地域：指定なし ・対象規制：食品包装・容器、化学物質
- 契約時間：60時間／年間
- 費用：1万円（税別）／1契約時間



事例紹介 3

- クライアント種別：電池メーカー
- 対象国・地域：欧州、北米 ・対象規制：電池、電気電子機器、自動車
- 契約時間：60時間／年間
- 費用：1万円（税別）／1契約時間





定期情報収集対応のご紹介

★ 定期・追跡調査と質問・相談対応のバリエーション

当社では、定期調査や追跡調査、質問・相談対応のための様々なサービスをご案内しております。



人気サービス

定期・追跡調査



トレンドサービス

契約時間消費型 コンサル

中長期オンタイム・ アドバイザリー

Cカレンダー 有料会員プラン

Summary 概要

- 相談事項に適した調査内容、報告方法、報告頻度などの仕様を提案・調整し、それに基づいて定期的に報告。

- 最初に年間または半年の契約を結び「契約時間」を付与。
- 質問対応や調査対応でそれを消費していく形式。

- 「定期・追跡調査」と「時間消費型コンサル」の組み合わせ。
- 定期的な情報報告と適時の相談対応体制を提供。

- 「契約時間消費型コンサル」と同様の形式。
- 質問・相談対象の情報は、Cカレンダー掲載動向の範囲（日米欧中）。

Features 特徴

- 調査仕様のフルカスタマイズが可能
- 調査内容や報告頻度を精査して不要な情報を排除
- 報告様式を指定して情報取得後の社内作業を軽減
- 契約の節目に調査仕様の見直しを行い、その時々に適した仕様へ調整
- 自社ならではの定期的な情報把握体制の確立へ

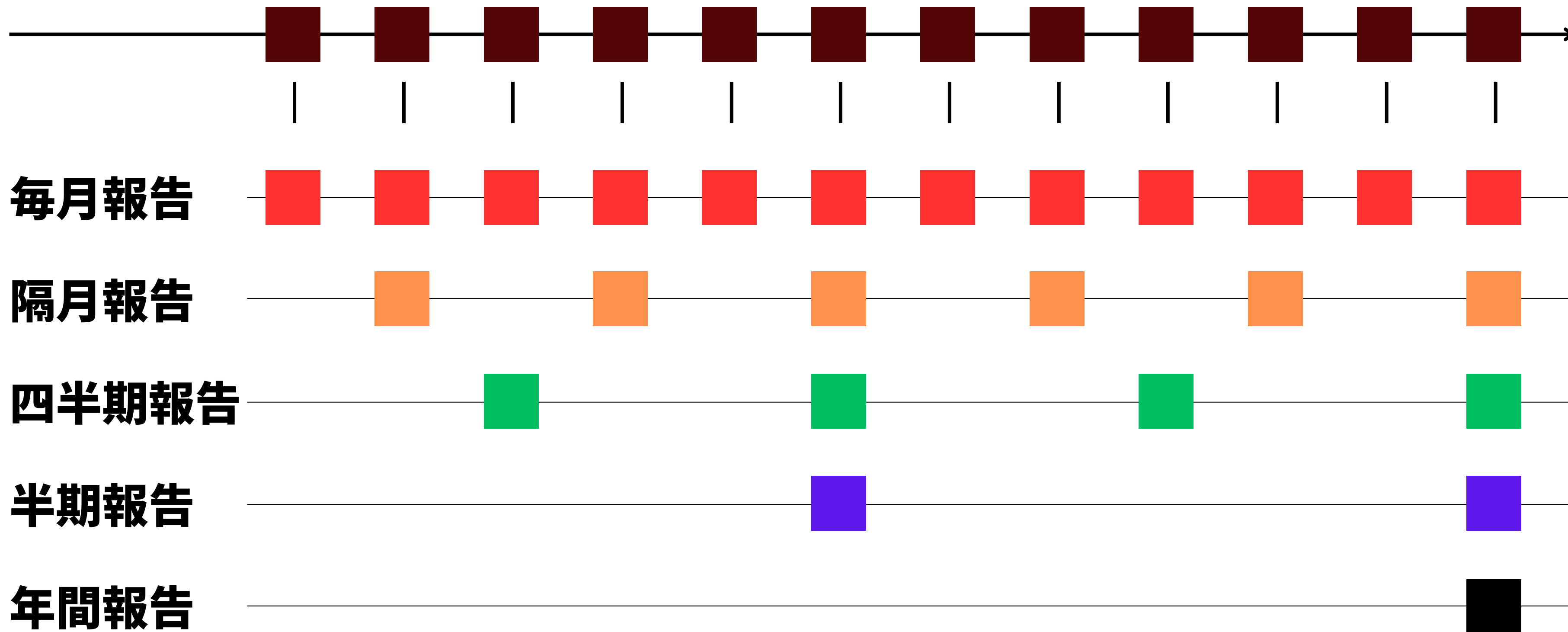
- 面倒な書類の手続きや社内稟議等は最初の契約時のみ
- 契約後は担当者レベルでのメールのやり取りのみで進行可
- 余った時間は一定数繰り越し可
- 不足時は適宜追加契約可
- ちょっとした質問から大規模調査まで柔軟に対応

- 定期的な関心情報の把握と、関連する質疑応答・調査相談対応の仕組みを整えたい場合に最適
- 社内リソースが不足し、社外に任せられるものは任せたいというケースや、不要な情報の取得の回避、実態がないのに発生する顧問料の回避などを検討する場合にも推奨

- Cカレンダーが対象とする主要国（日米欧中）の1.5次情報を足掛かりに、気になる動向を迅速に相談可能
- 定期・追跡調査を組むほどではないが、日米欧中については、適宜相談できる体制を整えておきたい、といったケースにオススメ



様々な報告頻度





様々な報告方法 (例)

リスト報告

- 日付、情報タイトル（日本語）、情報源URLをリスト形式で報告
- 費用を抑えたい場合や、広範囲の情報収集に適した方法



概要報告

- 対象動向1件あたりA4 1~2枚の概要整理で報告（日付、URL含む）
- 関連動向とその概要を把握した場合に適した方法



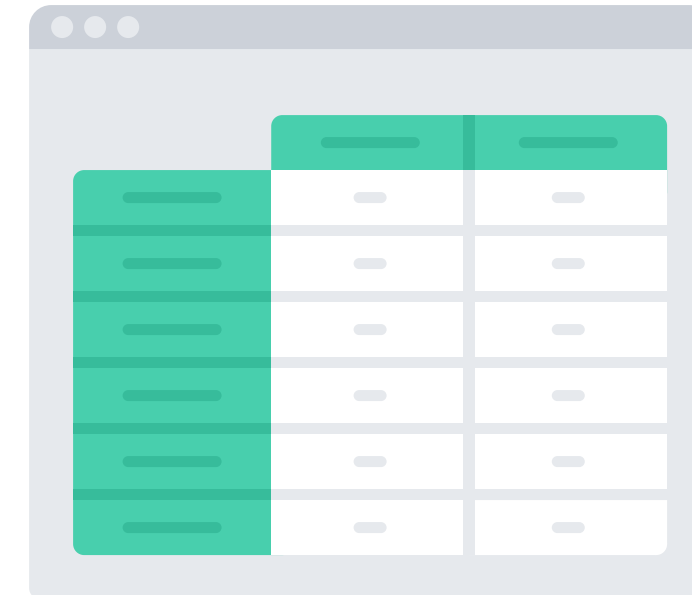
詳細報告

- 対象動向のそれぞれについて、対象製品/施設/対象者、関連要件、注目定義、事業との関連性などを詳細に報告。
- 詳細な情報収集に適した方法



比較報告

- 複数の対象国や対象法令、政策などを横並びに表整理
- 複数の法令・政策を整理する場合、対象国別にシートを分け、各シートで該当法令・政策を整理



これらの方法の組み合わせやその他の方法での報告も相談可



様々な報告様式

報告書形式

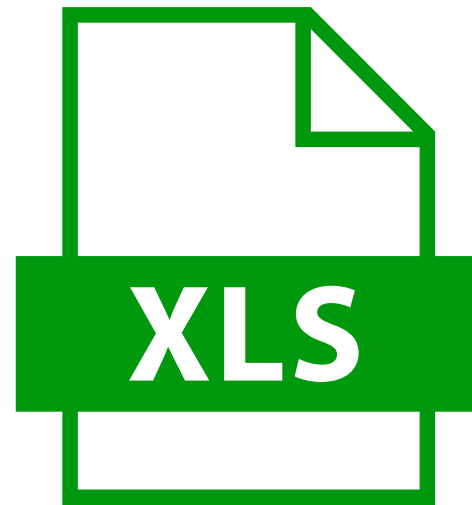
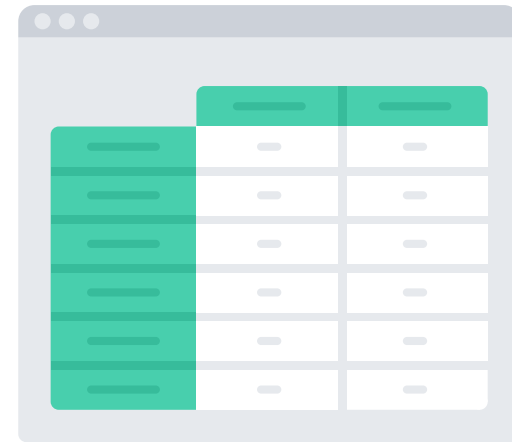
- Word + PDFファイル



- 概要報告や詳細報告に適した報告様式
- 概要説明や関連定義、対象者や要件の詳細の報告が含まれる場合は、報告書形式を推奨

表形式

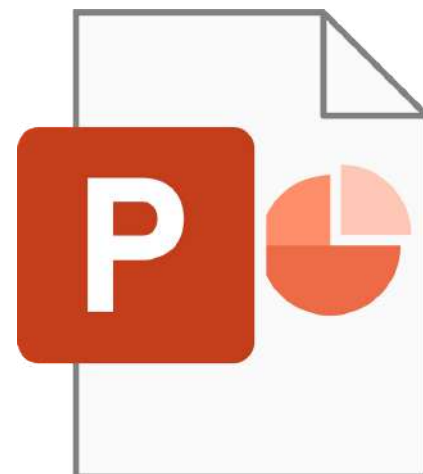
- Excelファイル



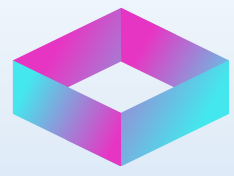
- 概要報告や比較報告に適した報告様式
- 複数の対象国や法令・政策を横並びで整理したい場合や、特定の項目を比較したい場合に推奨

スライド形式

- PPT or PDFファイル



- 概要報告や比較報告に適した報告様式
- 要点をわかりやすく把握したい場合に推奨
- 報告会を設ける場合や社内外との情報共有にも活用できる資料が欲しい場合に推奨
- 報告書形式との組み合わせを推奨



定期情報収集対応のご紹介（事例紹介）

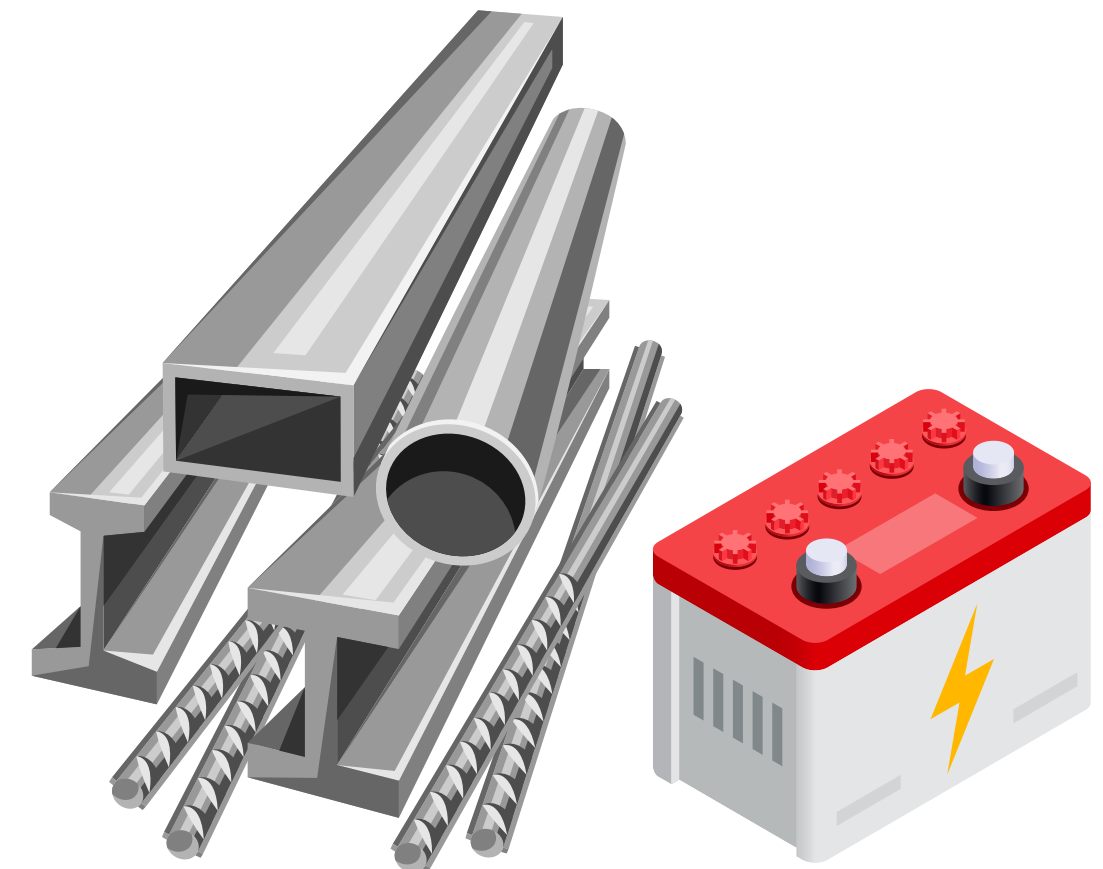
事例紹介1

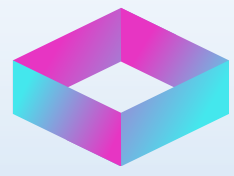
- クライアント種別：自動車メーカー
- 対象国・地域：日米欧中CA
- 対象規制：資源循環分野全般
- 報告：概要報告（報告書＋Excel整理＋定期報告会）
- 報告頻度：隔月（2グループに分けて進行）
- 契約更改：半年毎
- 調査価格帯：80～110万円／半年（税別）



事例紹介2

- クライアント種別：金属・鉄鋼セクター
- 対象国・地域：EU
- 対象規制：化学物質分野（特にREACH規則とCLP規則）
- 報告：詳細報告（物質評価、規制化前検討、規制化動向、関連性解釈等）
- 報告頻度：隔月
- 契約更改：年毎
- 調査価格帯：70～90万円／年間（税別）





定期情報収集対応のご紹介（事例紹介）

事例紹介3

- クライアント種別：食品容器・包装メーカー
- 対象国・地域：インド、インドネシア
- 対象規制：食品容器・包装規制、輸入規制、化学物質規制
- 報告：概要報告（報告書＋Excel整理＋定期報告会）
- 報告頻度：四半期毎
- 契約更改：年毎
- 調査価格帯：50～80万円／年（税別）



事例紹介4

- クライアント種別：電池メーカー
- 対象国・地域：EU
- 対象規制：電池規則
- 報告：概要報告（動向概要、関連性解釈等）（法令、法令案、業界団体情報など）
- 報告頻度：四半期毎
- 契約更改：年毎
- 調査価格帯：60～90万円／年（税別） ※情報共有＋2社

